

地域活性化フィールドワークin中通り

～わたしたちの“やってみたい”をかなえる地域づくり～



地域づくり活動のノウハウや経験談、リアルな悩みなど、身近な取組の現場見学やワークショップを通して学びます。

地域づくりを“もう一步”進めるヒントや、想いを共有できる“仲間とのつながり”を探しに来てみませんか？

開催
日時

9/11 木 9:30～
2025 15:30

場所

- ①古民家カフェ imoca
(福島市大波上屋敷30)
- ②大波多目的集会所
(福島市大波字滝ノ入43-1)

定員

30名程度
(職業、年齢等問いません。)



参加無料！
こんな方に
オススメです！

- ☒ 町内会活動などに取り組んでいる方
- ☒ 地域を今より楽しくしていきたい方
- ☒ 地域づくり活動に興味はあるけどハードルを感じている方
- ☒ 周辺地域で仲間やつながりをつくりたい方
- ☒ 他の地域の活動事例を学びたい方

プログラム

- 9:30～ ①地域づくりの取組見学
@古民家カフェ imoca、交流スペース
- 10:30～ ②レクチャー＆ワークショップ（午前の部）
(講師：宇都宮大学地域デザイン科学部 石井大一郎 教授)
- 12:00～ ランチ ★まδει工房 美彩恋人の手作りお弁当（1,100円）を手配します。
※お弁当代は当日集金します。
※昼食持参も可能ですので、参加申込みの際にお知らせください。
- 13:00～ ②レクチャー＆ワークショップ（午後の部）
- 15:30頃 解散

お申し込みはこちら（締切9月3日（水））



講師 & 見学先 紹介



講師： 石井 大一郎 氏
国立大学法人宇都宮大学地域デザイン科学部教授

<プロフィール>

国立大学法人宇都宮大学地域デザイン科学部教授。コミュニティ政策学会関東研究支部支部長。慶應義塾大学政策・メディア研究科博士課程修了。博士（政策・メディア）。

建築設計事務所を経て、インド・中国を旅する。その後、中間支援NPOの理事兼事務局として15年間従事。2011年東日本大震災後は、岩手県大槌町、福島県二本松市などで復興支援事業に5年ほど関わる。2016年より現職。大学教員の傍ら、栃木県や福島県、神奈川県を中心に新しいまちづくり組織の立ち上げ支援や、地域交流拠点づくりなどに取り組んでいる。また、2022年より地域デザインセンター地域防災部長を務める。一級建築士。専門社会調査士。

<福島県との関わり>

- ・福島県阿武隈地域振興協議会事業
「あぶくまづくり塾」講師（令和4年度～）
- ・二本松市集落支援事業
「対話によるまちづくり講座」講師（令和6年度）等

見学先：大波会



古民家カフェimocaの空きスペースを改修し、活用するために立ち上がったメンバー。令和6年度サポート事業を活用した「大波DIYプロジェクト」により、福島学院大学の学生とともに交流スペース改修に取り組んだ。構成メンバーは地域の女性を中心に、細やかな配慮に基づいた拠点作りや活動を計画している。



案内人： 永井 康統 氏
NPO法人0073（おおなみ）理事長

<プロフィール>

元東京電力の社員。東電時代には、阪神淡路大震災、新潟三条市水害、三宅島帰島等の支援に従事。新潟県中越地震では現地でボランティア活動に参加。東北地方太平洋沖地震では、直後から3週間相馬市で活動した経験もある。除染業務で福島に着任し、5年半にわたり従事。

福島市内の除染終了と同時に、「農地の再生無くして真の復興はない」との思いから、早期退職し、福島市大波に移住。NPO法人を立ち上げ、営農支援を主とした活動を開始。被害を受けた大波地区のコシヒカリを「大波米」としてパッケージを作成・販売することから始め、現在では10トンを超える販売量となった。大波特産の美味しいものを全国に発信すべく、切り餅や干し芋、南高梅等を活用した6次化商品の開発にも注力している。移住者を受け入れ人口を増やす目的で地域づくりにも積極的に関わり、古民家を改修したカフェの運営や、高齢者の孤立化を少しでも和らげる拠点となる居場所作りにも力を入れている。